

2歳児9月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で身のまわりのことを自分から意欲的に行おうとする</li> <li>・秋の自然に触れ、自然の変化に気づく</li> </ul>
子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○苦手なものも保育士に勧められてではなく友だちが食べているのを見て自分から食べようとする</li> <li>○4歳児とミニ人参の収穫を体験し、給食に人参を見つけると「これ〇〇ちゃんがとったにんじんだよ」と喜んで食べている。また、他の食材も「これは誰が作ったの?」と興味を示すようになる</li> <li>○箸を使って食べる子どもが少しずつ増えてきたが握り箸など正しく持てない子どももいる</li> <li>○ままごと遊びで、作る料理がかぼちゃスープなど具体的に言える</li> </ul>
ね 生 ら 活  い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児組のランチルーム開始の放送を聞き、食事時間を知る</li> <li>○こぼさないよう意識して食べる</li> <li>○こぼした時は教える、促されて拾う、拭くなどしてきれいになる心地よさを知る</li> <li>○箸・フォークを併用し、持ち方を意識して食べる</li> <li>○適度に休息を取り、生活リズムを整える</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○稲が実っていることに気づき、一粒一粒を観察したり触れるなど関心を持つ。また、5歳児の稲刈りを見学する</li> <li>○秋の気配を感じながら虫や草花、園庭の野菜に親しむ</li> <li>○3歳以上児の調理活動(うどん作り)を見学したり、地域ボランティアによる実演や食に関する話を聞き興味を持つ</li> <li>○幼児の当番活動や調理活動に興味・関心・期待を持つ</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ暑い日も多いので戸外・室内と遊びの選択肢を広げるとともに休息や水分補給もこまめに取れるようにする</li> <li>・一人ひとりの空腹感を見極めながら食事に誘い、自分で気がついて食事に向かえるよう意識させていく</li> <li>・こぼさずに食べるために食器を持つことやテーブルと椅子の間を詰めることなど具体的に伝えていく。</li> <li>・箸の使用は発達状態を見て家庭と連絡を取り合いながら無理のない範囲で進める。持ち方については個別に声をかけるとともに家庭でも意識してもらえるよう、おたより等で知らせる</li> <li>・いつも食べている米(稲)がどのようにできているのか伝えながら一緒に観察しさらに興味を持てるようにする</li> <li>・調理活動の見学や地域ボランティアの話を聞くなかでの子どもたちの気づきに共感し、さらに興味を広げていく</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内遊び(パズル・粘土・ままごと)や戸外遊び(体育遊び・リズム遊び)など静と動の活動の中で十分に落ち着いて休息がとれる環境づくりをする</li> <li>・箸の開始時期の目安や持ち方のポイントなど詳しく載せたおたよりを保護者に配布する</li> <li>・こぼしたらすぐに拭けるようランチルーム内にバケツと雑巾やテーブルごとに台ふきを用意しておく</li> <li>・幼児組と調理活動の見学時間や方法について相談し計画を立てる</li> </ul>
反 省	<p>運動会の練習する機会が多く、身体を動かすこともあつてか食べられる量が増えてきた。生活面では、自分でできることも増え、食事や着脱なども意欲的に行っている。幼児組のランチルーム開始の放送が食事時間の合図にもなり、放送が入ると「食べたい!」と訴えてくるようになった。園庭に虫がよく見かけられるようになり、ダンゴ虫やアリ、バッタなど興味を持って見たり触れたりしている。中には力の加減がわからず潰してしまう子どももいるので生命の大切さも伝えていきたい。</p>

2歳児10月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外で全身を使う遊びをしたり、散歩に出掛けて体力をつける</li> <li>・ いろいろな種類のきのこに触れ、しいたけの栽培に興味を示す</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児組のランチルーム開始の放送を真似て遊んだり、放送を聞き「ごはん食べる！」と食事に向かう姿が見られる</li> <li>・ すっぱい、辛い、苦い、甘辛いなど味に対する表現が豊かになる</li> <li>・ こぼさずに食べた時には「汚れなかったよ!」と伝えたり、友だちに「こぼれてるよ」と教えるなどきれいに食べようという気持ちが育ってきている</li> <li>・ かけっこなど運動会の練習で体を動かし、おかわりをよくするようになる</li> </ul>
ね ら 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年下の子どもを意識し、苦手なものを食べて見せたり上手に食べようとする</li> <li>○ 友だちや保育士と会話をしながら楽しく食べる</li> <li>○ 遠足に出掛け、戸外で手作りのお弁当をおいしく食べる</li> <li>○ かけっこやアスレチックなど全身を動かす遊びをしたり、散歩に出掛け体力をつける</li> </ul>
い と 遊 び 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 柿の製作を楽しむ(ひも通し)</li> <li>○ ポップコーン実演を見学し、ポップコーンのはじける音を聞いたり、匂いを嗅ぐなど、食べることに期待を持つ</li> <li>○ しめじ・えのき・エリンギ・舞茸・しいたけに触れ、いろいろなきのこがあることを知る</li> <li>○ しいたけの栽培に興味を持つ</li> <li>○ 食や衛生に関する絵本や紙芝居を見て、保育士や友だちとやりとりを楽しむ</li> </ul>
保 育 者 の 指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ランチルームで、年下の子どもと一緒に食べる中で自信につなげていく</li> <li>・ 戸外での食事や保護者の手作り弁当などいつもとは違う場面を作り、楽しんで食事ができるようにする</li> <li>・ お弁当は子どもたちが食べやすい内容にもらえるよう事前に保護者におたより等で伝える</li> <li>・ 手先が発達してきているので、ひも通しを取り入れた製作にする。出来上がった作品はすぐに掲示し、後から行う子どもが興味をもてるようにする</li> <li>・ 3歳児が栽培したポップコーンの粒が調理されて変化する過程を見逃さないような言葉かけをしたり、子どもが感じて表現したことに共感する</li> <li>・ しいたけ栽培の準備を子どもたちにも見せ興味を持てるようにする</li> <li>・ 手洗いなど衛生面に関する絵本や紙芝居を読み、保育士とのやりとりの中で衛生について気づけるようにする</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠足での食事の場所の確認や必要なものを準備しておく</li> <li>・ 製作に必要な教材(画用紙など)を準備しておく</li> <li>・ 多くの種類のきのこ(しめじ・えのき・エリンギ・舞茸・しいたけ)を用意し、子どもたちが直接手にとって触れることができるようにする</li> <li>・ しいたけの栽培キットを用意する</li> </ul>
反 省	<p>運動会に遠足と戸外での活動が多くなるが、子どもたちも随分と体力がついてきたように感じる。遠足では、家庭の手作りのお弁当が何よりの楽しみで、お弁当を励みに頑張って歩く姿が見られた。お弁当の内容は、子どもの好きなおかずが中心であったが、中には楽しい雰囲気の中なら食べられるのではと、苦手なものを入れる保護者もいた。その気持ちを受けてか食べてしまう子どもも多く、いつもとは違う雰囲気づくりも大切だと感じた。しいたけの栽培の導入として、いろいろなきのこに触れる機会を持つが、どの子どもも関心を示し手にとって匂いや感触を楽しんでいた。今後のしいたけの生長を楽しみにしたい。</p>

2歳児11月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培を通して食材への関心が高まる</li> <li>・いつもとは違った雰囲気の中での食事を楽しみにする</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足では、お弁当を楽しみにがんばって歩く姿が見られた。食事時間になると「おにぎりだよ!」「ウインナーが入ってるんだ〜!」と保育士や友だちに見せて喜ぶ</li> <li>・友だちとの関わりが増え、気の合う友だちとごっこ遊びするようになるがトラブルになることも多い</li> <li>・いろいろな種類のきのこに触れたことでしいたけの栽培への興味が高まっている</li> </ul>
ね ら い と 内 容	<p>生 活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栽培を通して食材に関心を持ち、名前を知ろうとする</li> <li>○セレクトおやつや青空おやつ(テラスで食べる)など、いつもとは違う雰囲気の中での食事を楽しみにする</li> <li>○収穫した野菜(しいたけ)を給食でおいしく食べる</li> <li>○保育士や友だちと朝食についてなど食に関する会話を楽しむ</li> <li>○調理員に親しみを持ち、自分が食べる姿を見せたり、「(会食に)また来てね!」と気持ちを伝えようとする</li> </ul> <p>遊 び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○しいたけの生長を楽しみにする</li> <li>・収穫したしいたけに触れ、匂いや形、感触を知る</li> <li>○栽培について話題にしたり、簡単な食事準備を手伝うなど家庭でも食への関心が高まる</li> <li>○散歩や戸外遊びでどんぐりや落ち葉拾いをするなど秋の自然に触れる</li> <li>○ままごと遊びで、包丁やなべなどを使い家庭での調理の様子を再現して楽しむ</li> <li>○発表会の小道具(クッキー)の色塗りを楽しむ</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	<p>保 育 者 の 援 助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつを選べたり、戸外で食べる日を設けるなどいつもと違う雰囲気を作り、楽しんで食事ができるようにする</li> <li>・青空おやつでは衛生面に気をつける</li> <li>・調理員との仲立ちとなり、関わる中で食べることへの意欲とともに作る人への感謝の気持ちを育てていく</li> <li>・しいたけが原木から生えている様子を観察したり、手にとって感触や匂いなどを感じられるようにする</li> <li>・保護者に栽培活動や園での食に関する遊びの様子を伝え、家庭でも話題にできるようにする</li> <li>・劇遊びの題材となった絵本を見せ、クッキーのイメージを広げる</li> </ul> <p>環 境 構 成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青空おやつでは子どもの動線を配慮し、シート、テーブルなどの設置を行う</li> <li>・しいたけの原木を子どもたちの見えるところに置いておく</li> <li>・ままごとコーナーを常設し、子どもたちの出し入れしやすいよう整理する。また、調理台になるテーブルなども用意しておく</li> <li>・クッキーはいろいろな形を用意し、子どもたちが選べるようにする</li> </ul>
反 省	<p>原木から出た小さなしいたけの芽が、翌日には食べられるほどの大きさに生長していて、どの子もその変化に驚いていた。収穫し給食に入れて食べるが「ぼくたちのつくったしいたけだよ」と1歳児や他クラスの担任に教えたり、今まで「きのこ」としか表現していなかったものが、「しいたけ」と名前を覚えて口にするなど、自分のクラスで栽培していることが、さらに食に対する意識を高めていくことを実感した。また、今月からセレクト給食を始める。思ったほどの混乱はなく、自分の食べたいものを選べる子どもが多い。青空おやつは、いつもと違いテラスで食べるということで喜んでいて、設定時期が遅かったため肌寒く、もっと早い時期から企画すべきだったと反省する。暖かい日など状況のみて随時行っていきたい。</p>

2歳児12月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに負けず、戸外で保育士や友だちと体を動かす遊びを楽しむ</li> <li>・箸遊びを通して、箸の扱いに慣れる</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しいたけの原木を見るのが日課となる。出てきたばかりの小さいしいたけを見つけ「赤ちゃんきのこだ～」と表現したり、次々と生えてくる様子に驚く</li> <li>・家庭の食事にしいたけが出ると「これしいたけっていうんだよ。保育園にもあるよ」と話したり、下ごしらえや洗い物を手伝うなど家庭でも栽培や食に関する話題をするようになる</li> <li>・箸に興味はあるもののなかなか上手に扱えない子どもも多い</li> </ul>
ね ら い と 内 容	<p>生 活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○給食の食材だけではなく献立名にも関心を持つ</li> <li>○セレクトおやつの際、味を想像しながら料理を選ぶ</li> <li>○保育士や友だちと朝食についてなど食に関する会話を楽しむ</li> <li>○梅干は「酸っぱくてもおいしい」「酸っぱいけど元気になる(体に良い)」など食べ物が体に大切なものであることがわかる</li> <li>○寒さに負けず戸外で保育士や友だちと体を動かす遊びを楽しむ(追いかけっこ、集団遊びなど)</li> </ul> <p>遊 び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冬の自然現象に興味を示す(霜、吐息の白さ、水の冷たさなど)</li> <li>○いちごの葉や木の実を使ってままごと遊びを楽しむ</li> <li>○箸遊びを通して、正しい持ち方を覚える</li> <li>○幼児組の調理活動(さつま汁)を見学し、幼児の調理する姿に憧れや期待感を持つ</li> </ul>
指 導 上 の	<p>保 育 者 の 援 助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事前に献立について話したり、配膳時に献立名を伝えるなどし、様々な料理があることを教えていく</li> <li>・セレクトおやつは実物を見せ自分で選べるようにする</li> <li>・栄養素に関する絵本を読んだり、食べ物が体に必要なものであることをわかりやすく伝える</li> <li>・戸外での活動を多く取り入れるが天候や体調も考慮し、室内での遊びも選択できるようにする</li> <li>・霜に直接触れたり、寒い日には吐息が白くなることを行って見せ冬の自然現象の不思議さに気づけるようにする</li> <li>・箸遊びは危険のないよう気をつけ、一人ひとりにじっくりと関わられるよう少人数で行うようにする</li> <li>・落ち葉や木の実を使った遊びを一緒に行い、子どもたちの中からもイメージを引き出していく</li> </ul>
留 意 点	<p>環 境 構 成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箸遊びでは違った形・大きさのものを用意する(スポンジ・大豆・花豆など)</li> <li>・食品の栄養素に関する絵本を用意する</li> </ul>
反 省	<p>寒さが厳しくなり、体調を崩す子どもも多かったため体調を見ながら室内・戸外と遊びの選択ができるようにした。戸外では集団遊びを好み、保育士を仲介としながらもかなり長い時間遊べるようになってきた。箸に興味はあるものの扱えない子どもが多い。発達に即して食事での使用はすすめてきたが、遊びの中でももっと積極的にとり入れても良かったと反省する。今後も引き続き行っていくとともに家庭で全く箸に触れていない子どもいるので連携を取っていきたいと思う。</p>

3歳児4月

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境に慣れ、安心して生活する</li> <li>○好きな遊びを見つけ保育士や友だちと一緒に楽しむ</li> <li>○ランチルームの使い方を知り、保育士と一緒に準備や片づけをする</li> </ul>	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣を自分でしようとしたり、保育者と一緒にしようとするが、ひとりではまだ難しい</li> <li>○登園時に泣いたり、不安や戸惑いの表情もみせたりするが、新しい環境に興味をもつ</li> <li>○友だちや保育士と好きなあそびを楽しむ</li> </ul>	
ねらいと内容	食と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊んだ後の手の汚れに気づき、石鹸を使って洗おうとする</li> <li>○いろいろな料理のあることを知り、好きな食べ物をおいしく食べる</li> </ul>
	食と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな友だちや保育士と一緒に食べることで、安心して楽しく食べられる</li> <li>○調理している人の存在に気づき配膳の時に声をかけてもらうことを喜ぶ</li> </ul>
	食と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食前食後の挨拶を進んで行なう</li> <li>○ランチルームの使い方を知り、保育士と一緒に準備や片づけをする</li> </ul>
	命の育ちと食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピーマンの葉や根などを観察しながら苗植えをする</li> <li>○水やりをしながら、4、5歳児の植えた野菜にも興味をもち生長を楽しみにする</li> </ul>
	料理と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉ねぎ、長ねぎの皮むきなど給食の下ごしらえを手伝う</li> <li>○エプロン・マスク・帽子のつけ方を知り自分でやろうとする</li> </ul>
	指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しい手洗いの仕方が身につくように一人ひとりにかかわる</li> <li>○楽しい雰囲気の中でメニューや食材の名前を話題にしながら食べ、興味を持てるようにする</li> <li>○保育士と調理員が連携をとることで、子どもも調理員を身近に感じられるようにする</li> <li>○保育士も一緒に準備したり食事をし、ランチルームでの食事の仕方やマナーを繰り返し伝えていく</li> <li>○食事の準備や片づけ方を丁寧に伝えていく</li> <li>○保育士と一緒に水やりなどの世話をし、生長の喜びや発見を共感する</li> <li>○下ごしらえの方法は見本を見せながら分かりやすく伝える</li> <li>○給食の中に下ごしらえをした食材を見つけて喜びを共感し意欲へつなげる</li> </ul>
	環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理員と子どもの結びつきが深まるようランチルームで配膳する</li> <li>○調理員と会食の機会をもつ</li> <li>○混乱しないようにランチルームの使い方（テーブルの位置・出入口・子どもの動線・配膳の順序・片づけの順序）を図で示す</li> <li>○ランチルームに園庭の草花を飾ったりBGMを流し落ち着いた雰囲気をつくる</li> </ul>
反省	<p>進級を喜びながら生活し、自分の好きな遊びを見つけたり友だちや保育士と一緒に遊ぶなど関わりを楽しんでいる。</p> <p>ランチルームのルールが少しずつ分かってきて自分が行きたい時に向かう姿も見られ、意欲的である。しかしまだ、動線を間違えたり片づけを忘れてたりするので、繰り返し伝えながら見守っていきたい。</p>	

3歳児5月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たてわりグループの活動の中で、年上の子どもに世話をしてもらうことを喜んだり、真似をして楽しく過ごす</li> <li>○身近な春の自然に触れながら戸外で遊ぶ楽しさや心地よさを味わう</li> <li>○野菜の苗や草花の世話を進んで行き、生長の変化に気づく</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○固定遊具で遊んだり、虫探しをしたり友だちと一緒に好きな遊びを楽しんでいる 「あしたもあそぼう！」と約束するなど期待感を持って過ごしている</li> <li>○幼児クラスの生活の流れやルールが少しずつ分かるのびのびと生活している 反面、まだ理解が十分できていなかったり不安定だったり、個別の関わりの必要な子どももいる</li> <li>○給食の下ごしらえに興味を示し、保育士や年上の子どもとの真似をして、一緒に野菜の皮むきを行なっている</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と 健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊んだ後や食事前の手洗いが習慣になり自分からやろうとする</li> <li>○食べ慣れていない物や苦手なものも一口食べてみようとする</li> </ul>
	食と 人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちや保育士と一緒に食事することを喜ぶ</li> <li>○バイキングやセレクト給食などに参加してみる</li> <li>○食事やおやつのおと「おいしかったよー」など調理員に親しみをもって声をかける</li> </ul>
	食と 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶や正しい姿勢など、保育士の声かけで気づき行う</li> <li>○ランチルームの使い方が分かり食事の準備や片づけなど、できることは自分でしようとする</li> </ul>
	命の 育ち と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポップコーンの種の色や形に興味をもち、種まきをする</li> <li>○ピーマンに水やりをしながら観察し成長を喜ぶ</li> </ul>
	料理 と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○皮むき器の使い方を知り、使ってみる</li> <li>○食材の香りや感触を楽しみながら、給食の下ごしらえを手伝う</li> <li>○おにぎりクッキングでは、炊きたてのご飯の匂いや温かさを感じながら味わって食べる</li> </ul>
	指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで手洗いを行うような声かけをし、できたときにはほめる</li> <li>・食べ慣れていないものや苦手なものができた時は励ましたり、声かけをし一口でも食べられるようにする</li> <li>・保育士と調理員が連携をとることで、子どもも調理員を身近に感じられるようにする</li> <li>・保育士と一緒に食事をとりながら、ランチルームでの食事の仕方やマナーを伝えていく</li> <li>・保育士と一緒に水やりなどの世話をし、生長の喜びや発見を共感する</li> <li>・一人ひとりの興味や自発性を大切にする</li> <li>・下ごしらえは年上の子どもを見て学んでいけるよう異年齢で取り組んでいく</li> <li>・クッキングの身じたくの方法を丁寧に伝える</li> <li>・手指の消毒の意味を伝え守って行うようにする</li> <li>・セレクト給食では子どもたちが期待をもてるようにチケットを用意する</li> </ul>
	環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキングの際は安全で衛生的な環境を整える</li> <li>・クッキングの際には子どもたちが身じたくしやすいエプロンを家庭で用意してもらう</li> <li>・旬の食べ物を見たり触ったりできるよう、子どもたちの手の届く所に用意する</li> </ul>
反 省	<p>幼児クラスの生活の流れやルールが分かってきて、のびのびと生活している姿が見られる。しかし、十分手をかけていきたい子どもも多数いるので、一人ひとりとの関わりを大切にしていきたい。給食の下ごしらえや初めてのクッキングなどの活動にはとても興味を持って取り組んでいる。ピーマン・ポップコーンに毎朝水をやり、花が咲いたり葉が伸びたりするのを喜んでいる。</p>	

3歳児6月

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活のルールが分かり、身まわりのことなど自分でやろうとする</li> <li>○保育士や気の合う友だちと一緒にあそぶ</li> <li>○バイキングやセレクト給食に興味を、経験することを楽しむ</li> </ul>	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気の合う友だちと一緒に遊ぶ姿が多く見られる</li> <li>○プール遊びが始まると「今日はプールに入れる」と期待しながら生活している</li> <li>○ランチルーム入室が遅くなったり、準備に時間がかかると時間内に食べ切れないことがある</li> </ul>	
ねらいと内容	食と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○汚れた手や顔を洗ったり、着替えるなどして清潔にしてから食事に向かう</li> <li>○友だちと楽しく食事する中で、苦手な食べものも少しずつ食べようとする</li> </ul>
	食と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だち、保育士、調理員と一緒に楽しく食事する</li> <li>○調理する人に関心を持ち、配膳の時に声をかけ合い関わりを持つ</li> <li>○バイキングやセレクト給食を楽しみながら食事する</li> </ul>
	食と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶、姿勢など食事のマナーを身につける</li> <li>○ランチルームの使い方が分かり準備や片づけなど、自分でやろうとする</li> </ul>
	命の育ちと食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収穫の喜びを味わい、自分たちで育てた野菜をおいしく食べる</li> <li>○「はっぱが長くなったね」「花が咲いたよ」など野菜の生長を喜びながら絵にかく</li> </ul>
	料理と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理の下ごしらえを手伝い皮むき器の使い方を知る</li> <li>○料理の味をイメージしてセレクト給食のメニューから選ぶ</li> </ul>
	指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の準備、挨拶、マナー、片づけなど一人ひとりの様子を把握し必要に応じた援助をする</li> <li>○メニューや食材の名前を話題にし、げんきボードにも関心をもたせる</li> <li>○一緒に苗の水やりをしながら、生長や変化など、子どもの気づきに共感し収穫への期待につなげる</li> <li>○皮むき器は保育士と一緒に使いながら正しい使い方を伝えていく</li> <li>○汗による顔や衣類の汚れに気づかない子どもには、声かけをする</li> <li>○子どもの食べる意欲を認めながら、一人ひとりの適量を把握し、食べられる量を配膳する</li> <li>○収穫した野菜が給食に入っている時には伝え、自分たちが育てた物を食べる喜びが感じられるようにする</li> </ul>
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○セレクト給食は定期的に行えるよう計画をたてる</li> <li>○セレクト給食のメニューはイメージしやすいように、絵や写真で示すなどを用意する</li> <li>○食事をしながら給食の食材に興味をひろげられるよう、げんきボードは見やすい所に置く</li> </ul>	
反省	<p>天気の良い日は散歩にでかけたり、下旬にはプールあそびも始まり、体を動かし元気に過ごしている。ピーマン・ポップコーンに水やりをしながら「赤ちゃんピーマンができた」「大きくなったね」など生長の変化を観察し、友だちや保育士に教え喜びを共感している。ピーマンは給食の食材にし、料理の中に見つけると喜んで食べている。</p>	

3歳児7月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏の生活ルールが分かり意欲的に身まわりのことを自分でしようとする・</li> <li>○友だちや保育士と夏の遊びを楽しむ</li> <li>○野菜の生長や変化に気づき、大切に世話をし、収穫したものを調理しておいしく食べる</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○砂場でのごっこ遊びでは、フライパンに砂を入れ「これ先生のごはんだよ」などランチルームでの盛りつけを真似している</li> <li>○「おおきいね」「ふとっているね」など友だちや保育士と会話をしながらピーマンの収穫をする</li> <li>○食事の時間を自分で考えたり、友だちと誘い合って決めたりするようになる</li> <li>○トレーに主菜・副菜・汁椀・コップをのせて、こぼさないように気をつけて運ぼうとする</li> </ul>
ね ら い 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○こぼしたことに気がつき自分で拭こうとする</li> <li>○苦手なものも少しずつ食べ自信をもつ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康 ○汗を拭いたり着替えたり、身のまわりをきれいにし食事に向かう</li> </ul>
と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○異年齢児とも一緒に食事をし、関わりを持つ</li> <li>人間 ○給食室まで収穫物を持っていき、「おねがいします」と手渡し、調理する人を身近に感じる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化 ○旬の野菜を味わって食べる</li> </ul>
命の 育ち と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピーマンの生長に関心をもち、実の大きさを見比べて収穫の時期に気づく</li> <li>○ポップコーンの実のつき方に興味をもち見たり触れたりする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>料理 ○カレーづくりでは玉ねぎの皮むきをし、生の野菜の形・色・匂いを感じる</li> <li>○調理員が調理する様子を間近に見て興味をもつ</li> </ul>
指 導 上 者 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保 ○子どもの動きを見守り、こぼしたことに気づかない時には声をかけ、後始末の方法を知らせていく</li> <li>育 ○調理員に収穫物を手渡す時にどんな料理に入るかなどのやりとりの仲立ちをする</li> <li>○夏野菜の収穫を通して野菜の旬を伝えていく</li> <li>の ○水分補給とともに、バランスよく食事をとるように声をかけていく</li> <li>援 ○地域ボランティア（生活技術指導士）を招き、地場野菜を紹介してもらい興味を持たせる（おおきいオクラ、すいかの花など）</li> <li>助 ○調理活動では発達に合わせた活動を経験できるようにする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環 ○ランチルーム内の温度・湿度に気をつけ快適な環境で食事できるようにする</li> <li>境 ○地域ボランティア（生活技術指導士）が紹介した珍しい野菜や花は親子が登降園時に見たり触れたりできる玄関や通路などに置く</li> <li>構 ○衛生面や子どもの動線を配慮し、調理活動しやすい環境をつくる</li> </ul>
反 省	<p>発熱・嘔吐・下痢など体調不良による欠席児が増えているので、登園している子どもの体調の変化には十分に配慮したい。ピーマンが次々に収穫でき給食の食材にし、自分が育てたものということ意識しながら食べている子どももいる。ポップコーンも「大きくなったね」「花が咲いたね」など変化を見つけ、関心の高さが伝わってくる。地域ボランティアの人の地場野菜の紹介では、知っている野菜もあり楽しんでた。</p>



3歳児8月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちや保育士と一緒に夏の遊びを楽しむ</li> <li>○給食の下ごしらえへの関心が高まり、友だちと協力して行なう</li> <li>○野菜の生長や変化に気づき保育士や友だちと共感する</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プール遊びでは、ワニ歩きやビート板を使って泳ぐことを楽しみ、空腹感を感じながらランチルームに向かっている</li> <li>○熟したピーマンを見つけ「赤くなっているよ」と発見を喜び、友だちや保育士に知らせ、一緒に見ている</li> <li>○ポップコーンの実やひげを触って「かたーい」「ふさふさしているね」と言って、生長を喜ぶ</li> <li>○給食やおやつの後、調理室に行き「おいしかった」など感想を伝えている</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と 健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○げんきボードを見て給食の食材を知る</li> <li>○夏の旬の野菜や果物をおいしく食べる</li> </ul>
	食と 人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランチルームの席の誘導など、年上の子どもの真似をしてみる</li> <li>○実習生、体験学習の学生と一緒に食事することを喜ぶ</li> </ul>
	食と 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食器に食べ物を残さずきれいに食べたことを喜ぶ</li> <li>○献立にあわせ、箸・スプーンを使い分ける</li> </ul>
	命の 育ち と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な生き物に興味を持つ</li> <li>○ピーマンの生長や変化に興味を持つ</li> <li>○「先生より大きくなったよ」とポップコーンの高さに驚く</li> </ul>
	料理 と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理室からの匂いを感じ、給食に期待感を持つ</li> <li>○友だちと協力して給食の下ごしらえをする</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年上の子どもの真似をして、「やってみよう」という意欲を受け止め、迷う時には声をかけたり教えたりする</li> <li>○実習生や体験学習の学生との関わり方を見守り、多くの子どもたち関わりを経験できるよう配慮する</li> <li>○きれいに食べられたことを認め、ほめることでまわりにいる子どもたちへの刺激につなげる</li> <li>○スプーンが用意してある時も、箸を使って食べる料理との区別ができてきているか見守る</li> <li>○ピーマン、ポップコーンの生長を日々一緒に観察し、収穫の時期に気づけるようにする</li> <li>○げんきボードの見方や意味を伝え、食材への関心につなげていく</li> </ul>	
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○暑さで食欲が落ちるので、ランチルーム内の温度・湿度に気をつけ快適な環境で食事できるようにする</li> <li>○げんきボードを子どもたちの手の届くところに置き近くで見たり触れたりできるようにする</li> <li>○プール遊びでは空腹感を味わえるよう、体を十分動かして遊べる空間と用具を準備する</li> </ul>	
反 省	<p>プール遊びの経験が増え、ワニ歩きやビート板を使って泳ぐ真似をするなど楽しみながら行い自信につなげている。</p> <p>ピーマンの生長は気にしていて「きのうより大きくなった」「これはふとっているね」「もう食べられそう」など友だちや保育士と話し、観察力がついてきている。また、ポップコーンも背の高さや実のきき方などに興味を持って見ている。給食の下ごしらえは友だちと誘い合っている。</p>	

3歳児9月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動会への期待を持ちながら、意欲的に練習に取り組む</li> <li>○秋の自然に触れながら遊びを楽しむ</li> <li>○ポップコーンの収穫やうどん作りなど初めての活動を通して食への関心を深める○</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○背が高くなったポップコーンを見上げながら友だちと「おおきいね」と話している</li> <li>○苦手な食べ物も「ひとくち食べてみよう」という保育士の言葉かけで食べてみる</li> <li>○好みの味だと分かるとおかわりをすることもある</li> <li>○プール遊びの後はブロック遊びなど静かな遊びを楽しむ。空腹を感じているので、ほとんどの子どもがランチルームのオープンとともに食事に向かう</li> </ul>
ね ら い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○げんきボードを見て、食材の働きにより分類されることを知り興味をもつ</li> <li>○「野菜を食べると元気に走れるよ」など力になることを意識して食事する</li> <li>健康 ○夏の間になくなったことを喜ぶ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○地域ボランティア（わかな会）からうどん作りを教えてもらい、一緒に食べたり、触れ合いを喜ぶ</li> <li>人間 ○友だちとの関わりが深まり、「一緒に食べよう」と誘い合ったりランチオープンに合わせて排泄・手洗いなど準備を進める</li> <li>関係</li> </ul>
と 食 文 化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うどんづくりを体験する</li> <li>○主食・総菜・汁物を順番に食べることを知る</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>命の ○ポップコーンを抜きながら力強さを感じる</li> <li>育ち ○食べることを楽しみにしながら、ポップコーンの実をもぎとる</li> <li>と食 ○体を動かすとのどが渇くことを経験し、水の大切さを知る</li> </ul>
料 理 と 食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近にある食材がうどんになることを知り興味を持つ</li> <li>○うどんの生地をやわらかい感触を楽しんだり、茹でる時の湯気の温かさを感じる</li> </ul>
	と食
指 導 上 者 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保 育 ○一緒に食事しながら食材を話題にしたり、子どもの疑問に答えていく。さらにげんきボードへの関心につなげていく</li> <li>○運動会の練習の取り組みをきっかけに、体と食材の関係に気づかせていく</li> <li>○夏の疲れを回復するために、バランスよく食べることを意識させていく</li> <li>の ○地域ボランティア（わかな会）と関わりが自然に持てるよう仲立ちをする</li> <li>援 ○主食・総菜・汁物を順番に食べるように言葉かけをしていく</li> <li>助</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を十分に動かせるような用具を準備したり、安全に活動できるよう環境を整える</li> <li>○運動会の練習に意欲的に取り組み、年中、年長児を応援する場を設定する</li> <li>○ポップコーンの根は子どもの力でも抜けるように張りを緩めておく</li> <li>○うどんづくりの工程を充分体験できるようなグループ（人数・スペース）編成をする</li> </ul>
反 省	<p>運動会の練習には興味を持って取り組み、自分の位置や順番などを意識し、覚えようとする姿が見られる。「ピーマンはいつの給食に入りますか？」など、調理員とのやりとりが自然にでき、ランチルームでの会話も増えている。地域ボランティアの人とのうどん作りでは、声をかけられると恥ずかしそうな表情を見せるが、生地踏みなど一緒に喜んで行なう。</p>

3歳児10月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単なルールや約束を守り、友だちと一緒に体を動かしてさまざまな運動遊びを楽しむ</li> <li>○秋の自然に触れて遊ぶことを楽しむ</li> <li>○プランターで土作りをし、秋蒔きの野菜を育てる</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もぎとったポップコーンを手に持ち「ぼくたちのポップコーンだよ」と嬉しそうに4、5歳児にも見せ収穫を喜ぶ</li> <li>○食事・おやつに後に、口のまわりが汚れていることに気づかない子どもがいる</li> <li>○運動会の練習では力いっぱい走ったり、楽しく踊ったりしている。また4、5歳児の競技を見ていると自然に拍手し応援している</li> <li>○園庭の草の中でバッタを見つけ、捕まえると観察している</li> </ul>
ね ら い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○遠足ではお弁当を友だちや保育士と見せ合いながら味わって食べる</li> <li>○最後に収穫したピーマンを給食の中に見つけ「ありがとう」の気持ちを持ちながら食べる</li> <li>健康 ○げんきボードを見て食材が分類されることを知り興味をもつ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○配膳時調理員と「どのくらい食べる?」「おおもりください」などのやりとりをする</li> <li>人間 ○4、5歳児の当番活動に興味を持つ</li> <li>関係 ○「いただきます言った?」「これおいしいよ」など年上の子どもが声をかけてくれることを喜ぶ</li> </ul>
命 育 ち と 食 料 理 と 食	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○食後、口のまわりの汚れに気づき、きれいにする</li> <li>○保育士の声かけで食事時間を意識する</li> <li>文化 ○トングを使い自分で配膳し、バイキング形式の食事を楽しむ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>命の ○ミニにんじんや三つ葉の種の匂いをかいだり数をかぞえたりして種まきをする</li> <li>育ち ○ポップコーンの一粒一粒を大切にしながら実をもぐ</li> <li>と食</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>料理 ○「ポンポンいってる」「いい匂いだね」などポップコーンのはじける時の音や匂いを感じ、できたてをおいしく食べる</li> <li>と食 ○調理室からの匂いで料理を想像し給食を楽しみにするとともに、いろいろな料理のあることを知る</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保 育 ○ポップコーンの実演では安全に配慮しながら、変化の様子が十分感じられるような場を整える</li> <li>者 ○子どもと一緒に収穫後の片づけや、次の栽培に向けての土づくりを行なう</li> <li>の ○種まきしたプランターは、日当たりが良く世話のしやすい場所に置く</li> <li>の ○ポップコーンをつるし乾燥させる場所は、子どもが目にしやすく風通しの良い所を選ぶ</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>環 境 ○ポップコーンの実演では安全に配慮しながら、変化の様子が十分感じられるような場を整える</li> <li>○子どもと一緒に収穫後の片づけや、次の栽培に向けての土づくりを行なう</li> <li>構 ○種まきしたプランターは、日当たりが良く世話のしやすい場所に置く</li> <li>成 ○ポップコーンをつるし乾燥させる場所は、子どもが目にしやすく風通しの良い所を選ぶ</li> </ul>
反 省	<p>運動会は全員出席し最後まで競技を楽しみ、後日経験画を描くが、イメージしたものを描く力が少しずつ育っていることが感じられた。新たに栽培を始めるミニ人参・三つ葉の種に興味深く見ている。またポップコーンの実をもぐことの大変さも経験できた。げんきボードに貼ってある食材の写真を良く見たり、年長児の当番活動の仕事に興味を持ちやってみたいという子どももいた。</p>

3歳児11月

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表会の練習を通し、劇や遊戯それぞれの活動の仲間と協力することの大切さを知り、表現活動を楽しむ</li> <li>○秋の自然の変化に気づき興味・関心を持ち遊びの中に取り入れて楽しむ</li> <li>○しいたけの生長の様子を観察し、生命の不思議さを感じる</li> </ul>	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気温が下がると厚着で登園する子どもが増えるが日中体を動かすと暑くなり、薄着になる子どもがいる</li> <li>○遠足ではお弁当の時間が待ちきれず、「お弁当まだ？」と保育士に何度も聞きにくる</li> <li>○お弁当をととても喜び友だちと見せ合いながら嬉しそうに食べている</li> <li>○ポップコーンの皮を利用した製作では、はさみ・のりを使い、興味を持って取り組んでいる</li> <li>○三つ葉・ミニ人参に水やりをし「早く芽が出ないかな？」「まだ、でてこないね！」と話しながら発芽を楽しみにしている</li> </ul>	
ねらいと内容	食と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○料理を見て自分の食べられる量が分かり、配膳してもらったものは残さず食べる</li> <li>○食材を確かめながら味わって食べ、珍しいものは「これなあに？」と保育士に聞く</li> <li>○温かな汁物をおいしいと感じながら食べる</li> </ul>
	食と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「せんせい、ここに座って」と一緒に食べたがる</li> <li>○5歳児の当番活動を真似して行なう</li> </ul>
	食と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食器はかごの中の低い所に重ねていくなど片づけ方を知り大事に扱う</li> <li>○友だち同士箸の持ち方を意識し上手に使う</li> </ul>
	命の育ちと食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三つ葉・ミニ人参の発芽を喜び「きれいに並んでいるね」など観察しながら水やりをする</li> <li>○年長児の育てている大根の茂り方など興味を持って観察する</li> <li>○しいたけの栽培では「あかちゃんがいっぱい」「大きくなったね」など生命の不思議さを感じる</li> </ul>
	料理と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○セレクト給食では献立名から料理を想像し好きな方を選ぶ</li> <li>○給食の中に珍しい食材を見つけると、色や形を興味深く見る</li> </ul>
指導上の留意点	保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食材が話題になった時には名前や働きなども知らせ、更に関心を膨らませていく</li> <li>○寒い時期なので電磁調理器を使用し、温かい汁物を味わえるようにする</li> <li>○“やってみたい”という気持ちを満足させることができるよう、当番活動を経験できる機会をつくる</li> <li>○食器は低い所に重ねていくこと、音をたてないで重ねることなど丁寧に伝えていく</li> <li>○野菜の発芽・生長に時間がかかるが、変化のあった時には子どもが気づくような声かけをして発見を喜べるようにする</li> <li>○栽培キットや栽培方法などを説明し興味を持たせる</li> <li>○当番活動の内容・手順などを説明し、経験する中で、自分にもできた実感できるようにする</li> </ul>
	環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栽培キットは登降園時に親子で観察しやすいよう、保育室の見やすい所に置く</li> <li>○電磁調理器には子どもが手を触れることのないようカバーを置く</li> <li>○下膳かごは安定の良い所に置く</li> </ul>
反省	<p>発表会の練習を通し、異年齢の新しい友だちとの関わりが広がる。台詞や踊りを覚え、人に見てもらうことが自信につながっている。しいたけの栽培では、生長の速さに驚き生命の不思議さを感じることができた。ミニ人参・三つ葉は時期的に生長がゆっくりなので変化が見られたときには、子どもが気づけるよう配慮していく。自分の食べられる量が分かり、料理を見て配膳量を決めている。</p>	

3歳児12月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表会では練習の成果を発揮し、見てもらうことで喜びを感じる</li> <li>○友だちとイメージを共有しながらさまざまな役になってごっこ遊びを楽しむ</li> <li>○さつま汁作りを通して、食材の種類や調理の仕方を知り、できたものを味わって食べる</li> </ul>	
子 ども の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランチルームの配膳時には料理を見て「これは大盛り」「これは小盛り」と、これまでの経験からそれぞれ料理の味を想像し、自分の食べられる量を決めている</li> <li>○電磁調理器を使用を始め、いつでも温かなお汁が飲めるようになり、喜んで食事している</li> <li>○げんきボードを作る機会があると「やりたい」と意欲を見せ、食材の写真を見ながら選び楽しんでいた</li> <li>○戸外にでると「さむーい」と言っていたが、鬼ごっこなどすると体が温まり活発に遊んでいる</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「牛乳を飲むと背がおおきくなるんだよ」と食材のもつ働きに興味を持つ</li> <li>○戸外遊びの後や食事前はうがい・手洗いが風邪予防に役立つことが分かり、進んで行なう</li> </ul>
	食と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなで作ったさつま汁を友だちと一緒に食べおいしさを味わう</li> <li>○こぼした時など食器を移動したり台拭きで拭いたり、同じテーブルの友だちと協力しきれいにする</li> </ul>
	食と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食器を持ったり手を添えたりして食べる</li> <li>○おでんの食材になる練り製品など、伝統的な食品加工品を味わう</li> </ul>
	命の育ちと食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寒さの中でも育っている三つ葉やミニ人参の力強さに気づく</li> <li>○5歳児が栽培した大根を浅漬けにし、素材本来の味を知る</li> </ul>
	料理と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豆腐とひき肉の重ね蒸しなど、食材を組み合わせた料理の味わい方を知る</li> <li>○異年齢の友だちと協力してさつま汁を作る</li> <li>○4、5歳児の包丁を使い方を見て覚え、保育士と一緒に試してみる</li> </ul>
	指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保 育 者 の 援 助</li> <li>○絵本や紙芝居などで食材の働きを分かりやすく伝えていく</li> <li>○うがいや手洗いの大切さを繰り返し伝え、関心を高め子ども同士でも気づき合えるようにする</li> <li>○年齢に合わせた活動に限らず、興味をもったことを体験できるようゆとりのある計画を立てる</li> <li>○旬の野菜本来の味が分かる調理をし、大根の苦味なども味わう</li> <li>○料理をばらばらにし食材ごとに食べてしまったり、苦手なものだけ残してしまわないよう、一緒に食べることで生まれるおいしさに気づかせていく</li> <li>○保育士と一緒に包丁を使うなど安全面に配慮しながら“やってみたい”気持ちを満足させる</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本などの教材は手に取りやすい場所に置く</li> <li>○調理活動を十分経験できるよう器具を用意する</li> <li>○台ふきや雑巾は決められた場所に置く</li> </ul>	
反 省	<p>寒さが厳しくなるが、薄手のジャンパーを着るなど調節して園庭で鬼ごっこしたりままごとなどして元気に遊んでいる。さつま汁づくりでは日頃の下ごしらえの成果が見られ、皮むき器の使い方が上手になりスムーズに進められた。また、保育士と一緒に包丁を使えたことが新鮮で、次のクッキングへの期待につながられたようだ。5歳児の栽培した大根は初めは「にがい」と言っていたが、身近にいる5歳児が育てた大根だと分かると味わいながら食べている。</p>	

4歳児4月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい生活の仕方がわかり、身のまわりのことを自分でしようとする</li> <li>○春の自然に触れながら、友だちや保育士と好きな遊びを楽しむ</li> <li>○楽しい雰囲気の中で友だちや保育士と一緒に楽しく食事をする</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身のまわりのことはほとんど自分でできるが、保育士の言葉かけや援助の必要な子どももいる</li> <li>○友だちと好きな遊びを楽しんでいる</li> <li>○ランチルームで友だちと一緒に食事をすることを楽しみにしている</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と 健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身のまわりのことはほとんど自分でやろうとする</li> <li>○友だちと一緒にランチルームで食事をすることを喜ぶ</li> <li>○食べ慣れない物や苦手な物などを食べてみようとする</li> </ul>
	食と 人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育士や友だちと一緒に食事をすることを喜ぶ</li> <li>○配膳、会食時に調理員との会話を楽しみ、調理する人に関心を持つ</li> </ul>
	食と 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶、姿勢、箸の持ち方などに気をつけて食事をする</li> <li>○トレーの使い方、下膳の仕方をしっかりと覚え、行う</li> </ul>
	命の 育ち と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なすの苗植え、いんげん、枝豆、オクラ、ミニにんじんの種まきをし、水やりをする</li> <li>○春の自然に触れ、身近な動植物に関心をもつ</li> </ul>
	料理 と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理の下ごしらえを手伝い、調理器具の正しい使い方を知る</li> <li>○たまねぎ、長ネギ、にんじんの皮むき、さやえんどうのすじとりなど行う</li> <li>○給食の中に下ごしらえした食材を見つけ、おいしく食べる</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しい歯磨きの仕方が身につくよう、一人ひとりの子どもに合わせ、必要に応じた援助をしていく</li> <li>○食事の量や好き嫌いなど把握し、楽しく食事ができるようにする</li> <li>○保育士と調理員が連携をとることで、子どもたちも調理員を身近に感じられるようにする</li> <li>○保育士と一緒に食事をし、食事のマナーや箸の持ち方が身につくようにする</li> <li>○保育士と一緒に水やりをするなど、植物の世話をし、生長に気づき共感しあう</li> </ul>	
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で衛生的な環境を整える（歯磨きをする場所を決める）</li> <li>○ランチルームで混乱しないように使い方を図で示す</li> <li>○ランチルームに園庭の草花を飾ったり、BGMを流し、落ち着いた雰囲気を作る</li> <li>○子どもたちが見やすい場所にげんきボード（食育成分表）を設置する</li> <li>○旬の食べ物を見たり、触れたりできるよう、子どもたちの手の届く所に用意する</li> </ul>	
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級したことが嬉しく、生活面などでもはりきって行う様子が見られた。甘えなども見られるので、一人ひとりをしっかりと把握し、受けとめていきたい。危ないことなど、わかっているけど、友だちと一緒にだてやってしまう姿がみられるので、いけないことはその都度注意して守れるようにしていきたい。</li> <li>・ランチルームでは楽しく会話しながら食事をし、苦手なものにも挑戦する姿がみられる。</li> </ul>	

4歳児5月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でできることに喜びを感じ、自分でしようとする</li> <li>○保育者や友だちと一緒に、自然に触れて遊んだり、体を動かして遊ぶことを楽しむ</li> <li>○野菜の世話を保育士や友だちと一緒にやり、生長や変化に気づく</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身のまわりのことは自分でできる子どもがほとんどであるが、保育士の援助を待っている子どももいる</li> <li>○ランチルームへは、友だちを誘って行く姿が多く見られ、会話を楽しみながら食事をするようになる</li> <li>○野菜の生長（さやえんどう、なす、いんげん、枝豆、オクラ、ミニにんじん）を楽しみにし、水やりなど行う。大きくなると嬉しそうに報告する姿が見られる</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活に必要な習慣を身につけ、自分でしようとする</li> <li>○多くの種類の食べ物や料理を味わう</li> <li>○食べ慣れない物や嫌いな物も食べてみようとする</li> </ul>
	食と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちや保育士を誘って楽しく食べる</li> <li>○配膳、会食時に調理員との会話を楽しみ、親しみを持って声をかける</li> </ul>
	食と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶、姿勢、箸、皿の持ち方などに気をつけて食事をする</li> <li>○食事の準備や片づけを積極的に行う</li> <li>○バイキングやセレクト給食など楽しみながら食事をする</li> </ul>
	命の育ちと食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜の水やりなどを通し、大切に育て、生長・変化に気づく</li> <li>○収穫を喜び、給食の中に食材を見つけ、おいしく食べる</li> <li>○農家の人に教えてもらいながら一緒にさつまいもの苗植えをする</li> </ul>
	料理と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食の食材に入ることを楽しみにし、下ごしらえを手伝う</li> <li>○皮むき器の使い方をわからない子どもに教える</li> <li>○おにぎりクッキングでは炊きたてのごはんの香りとあたたかさを感じながら味わって食べる</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	保 育 者 の 援 助	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食べ慣れないものや苦手なものが出たときには、げんきボードを活用し、体に大切であることを伝え、少しでも口にできるようにする</li> <li>○セレクト給食やバイキングなど食事形式を工夫することで、楽しく食べられるようにする</li> <li>○保育士と一緒に食事をする中で、マナーなど伝え、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする</li> <li>○収穫した野菜が給食に入っている時は子どもたちに伝え、自分たちで育てたものが食べられることの喜びが感じられるようにする</li> <li>○クッキング前に、手指の消毒の意味を伝え、安全、衛生面に配慮する</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理員と定期的に会食がもてるように計画を立てる</li> <li>○セレクト給食では子どもたちが期待を持てるようにチケット作りをする</li> <li>○クッキングの際には子どもたちが身じたくしやすいエプロンを家庭で用意をしてもらう</li> <li>○クッキングでは子どもに無理のないように計画を立てる</li> </ul>	
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜や花の種まき、苗植え、クッキングなど子どもたちにとって、楽しいことがたくさんあった。食に対する興味なども子どもによって差はあるが、興味をもって取り組めることも多くなってきたように感じる。</li> <li>歯磨きは少しずつ身につけてきたが、扱い方などきちんとできない子どもがいるので個別に対応していきたい。</li> <li>・約束事なども何のために必要なのか、しっかりと伝えて、守れるようにしていきたい。</li> </ul>	

4歳児6月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康的な生活（うがい、手洗い、歯磨きなど）の仕方を知り、自分からしようとする</li> <li>○梅雨期の自然に触れ、身近な動植物を見たり、触れたりして興味・関心を持つ</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランチルームには、気の合う友だちと食べに行くが、おしゃべりに夢中になり、食べるのに時間がかかる子どももいる</li> <li>○野菜の生長や収穫を楽しみにし、水やりなど積極的に行う</li> <li>○調理活動や下ごしらえなど、食に関する活動を楽しみにする子どもが増える</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うがい・手洗い・歯磨きの大切さを知り、自分でしようとする</li> <li>○げんきボードを見て、食べ慣れない物や苦手なものにも挑戦する</li> </ul>
	食と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○落ち着いた雰囲気の中で楽しく食事をする</li> <li>○友だちや保育士、調理員と食事をし、会話をする中で、関わりを深める</li> <li>○5歳児の当番活動に興味を持つ</li> </ul>
	食と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶・姿勢・箸・皿の持ち方などに気をつけて食事をする</li> <li>○栽培などを通し、食材にも匂いがあることを知る</li> <li>○バイキング形式、セレクト給食・おやつなど多様な食事形態に慣れ、楽しく食事に向かう</li> </ul>
	命の育ちと食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収穫の喜びを味わい、自分たちで育てた野菜をおいしく食べる</li> <li>○なすの収穫を喜び、観察画を描く</li> <li>○小学生の田植えに興味を持って見学する</li> </ul>
	料理と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理の下ごしらえを行い、その食材が給食に入ることを楽しみにする</li> <li>○収穫した野菜を給食の中に見つけ、喜んで食べる</li> <li>○食材の色、形、匂いなどに興味を持つ</li> </ul>
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育教材（絵本・紙芝居・ポスターなど）を活用し、歯磨きの大切さを知らせていく</li> <li>○げんきボードを活用し、食べ慣れないものや苦手なものが出たときには、体に大切であることを伝え、食べてみようという気持ちを引き出していく</li> <li>○自分たちで育てた野菜を食べられることの喜びが感じられるようにする</li> <li>○散歩で保育園近くの畑に行き、多様な野菜に幅広く触れる機会をもつ</li> <li>○観察画は、なすを手取るなど、じっくりと観察できるように、時間、場所などに配慮する</li> </ul>	
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯ブラシは衛生的に管理し、子どもたちが使いやすいようにしておく</li> <li>○セレクト給食・おやつは定期的に行えるように計画を立てる</li> <li>○ランチルームではBGMを流し、子ども同士の会話の大きさの目安となるようにする</li> <li>○衛生面に配慮し、ランチルームで調理員、保育士が配膳を行う</li> </ul>	
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だち同士の遊びを楽しむ。トラブルの際、手が出てしまうことは減ってきたものの、夢中になると約束事が守れないのは変わらない。その都度しっかりと伝えていきたい。</li> <li>・ランチルームでの食事も友だち同士で楽しんでいるが、時間がかかりすぎている子どもも多いので、一定時間で食べられるようにしていきたいと思う。</li> </ul>	



4歳児7月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏の生活の仕方がわかり、自分から進んでしようとする</li> <li>○友だちや保育士と一緒に身近な自然に触れ、この時期ならではの遊びを充分に楽しむ</li> <li>○落ち着いた雰囲気の中で、食事時間を意識して食べられるようにする</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「つつつつしている」「野菜のにおいがする」など楽しみながら野菜を収穫している</li> <li>○「これ僕たちのなすだ」と給食の中に収穫した食材を見つけると、喜んで食べている</li> <li>○空腹を実感し、食事に向かう姿が多く見られるようになる</li> <li>○5歳児の食事当番に興味を示し、「やってみたい」という子どもが増える</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と 健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身のまわりを清潔にし、食事に向かう</li> <li>○げんきボードを見て、苦手なものも体に必要なことを知り、食べようとする</li> </ul>
	食と 人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちや保育士と会話をする中で、関わりを深める</li> <li>○登園するとすぐ、調理する人に「今日の給食は何？」と聞くなど、食に関する会話をする</li> <li>○5歳児に教えてもらいながら、食事当番の手伝いをする</li> </ul>
命の 育ち と食	食と 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事時間を意識して、一定時間内に食べられるようにする</li> <li>○トングの使い方が上手になり、バイキング形式での食事を楽しむ</li> <li>○地域ボランティア（生活技術指導士）から地場野菜の紹介をしてもらい、実際に触れたり味わうことで興味を深める</li> </ul>
	料理 と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜の世話（水やり、草取り、間引きなど）を積極的に行い、収穫時期に気づく</li> <li>○「大きくなったね」と収穫する喜びを感じ、育てた野菜をおいしく食べる</li> </ul>
指 導 上 者 の 留 意 点	料理 と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調理活動（カレー作り）を楽しみにし、積極的に行う</li> <li>○型抜き正しい使い方を知る</li> <li>○給食室から漂ってくる匂いからメニューを想像し、食事を楽しみにする</li> </ul>
	保 育 者 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○げんきボードを活用し、食材が栄養素別に分かれることを理解できるようにする</li> <li>○地域ボランティア（生活技術指導士）に園に来てもらい、地場野菜に興味を持たせる（大きいオクラ、すいかの花など）</li> <li>○夏野菜の収穫をしながら、匂が感じられるようにする</li> <li>○ランチルーム内に時計の表示をし、意識して食べられるようにする</li> <li>○クッキングは無理のない範囲で行い、事前に手順を知らせ、興味を持てるようにする</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○げんきボードを子どもたちの手の届く所に置き、実際に触れたりできるようにする</li> <li>○ランチルーム内の温度・湿度に気をつけ、快適な環境で食事ができるようにする</li> <li>○衛生・安全面に配慮し、調理活動に必要な調理器具を用意する</li> <li>○匂の野菜や地場野菜を登降園の際、親子で見たり、触れたりできるように玄関や通路など見やすい場所に展示しておく</li> </ul>	
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候に恵まれず、プール遊びなどの水遊びが思うようにできなかった。</li> <li>・製作は子どもたちの方からやりたいとの声がかかれ、集中して取り組む姿がみられた。</li> <li>・クッキングではにんじん、じゃがいもの皮むきなどを行う。自分たちで作ったカレーはとてもおいしかったようで、いつも以上によく食べていた。</li> </ul>	

4歳児8月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏の遊びなどを通し、いろいろな友だちとの関わりを広げ、深める</li> <li>○栽培を通し、生長、変化に気づき、収穫の喜びを味わう</li> </ul>
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちで植えたさつまいもの苗や野菜の生長を楽しみにし、「大きくなったかな」などの会話が多くなる</li> <li>○近隣の畑に散歩に行き、旬の野菜を観察し「これ保育園にもあるね」「食べたことがあるよ」など関心が深まってくる</li> <li>○友だちや保育士と楽しく食事をするが正しく箸や皿が持てない子どもがいる</li> </ul>
食と 健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身のまわりを清潔にしてから、食事に向かうと心地よいことを知り、自分から行う</li> <li>○自分たちで育てた野菜から、食べ物と健康について関心をもつ</li> </ul>
ね ら い と 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食と ○「今日は来るかな？」と調理する人との会食を楽しみにする</li> <li>人間 ○ミニにんじんの収穫時には年下の子どもに「こうやるんだよ」「ここを持って引っぱるんだよ」などやり方を教える</li> <li>関係 ○5歳児に教えてもらいながら、食事当番の手伝いを積極的に行う</li> <li>食と ○食事時間を意識して、一定時間内に食べられるようにする</li> <li>○正しい箸、皿の持ち方に気づき、身につくようにする</li> <li>文化 ○展示した旬の野菜に直接触れ、興味を広げる</li> <li>命の ○「大きくなったよ」と野菜の収穫時期に気づき、収穫する</li> <li>育ち ○水やり、草とりの意味がわかり、積極的に行う</li> <li>と食 ○ミニにんじんの大きさ、色、形などの違いに気づき、観察画を描く</li> <li>料理 ○下ごしらえをする中で「これは長いね」「大きいね」など食材の形、色、匂いに興味をもつ</li> <li>と食 ○セレクト給食では自分の食べたいものを考え選ぶ</li> <li>○給食室から漂ってくる匂いからメニューを想像し、食事を楽しみにする</li> </ul>
指 導 上 者 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保 ○げんきボードを活用し、食材が栄養素別に分かれることを理解できるようにする</li> <li>育 ○一緒に食事をする中で、正しい箸、皿の持ち方が身につくようにしていく</li> <li>者 ○水やり、草とりなどを通して、自然に収穫時期に気づくようにしていく</li> <li>の ○収穫した野菜の形、色、匂いなど話題にし、やりとりをしていく</li> <li>留 ○収穫した野菜の形、色、匂いなど話題にし、やりとりをしていく</li> <li>意 ○収穫した野菜の形、色、匂いなど話題にし、やりとりをしていく</li> <li>点 ○収穫した野菜の形、色、匂いなど話題にし、やりとりをしていく</li> </ul>
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>環 ○食中毒が多い季節なので、衛生面に配慮し、ランチルームで配膳する</li> <li>境 ○下ごしらえや給食当番の手伝いがいつでもできるように、エプロンセットを常時用意しておく</li> <li>構 ○観察画は収穫した野菜を手にとって観察できるように、置き場所など工夫する</li> <li>成 ○観察画は収穫した野菜を手にとって観察できるように、置き場所など工夫する</li> </ul>
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日暑く、プール遊びを思う存分行うことができた。顔つけやワニ歩きなどできることも増え、自信もついてきた。</li> <li>・友だち同士の遊びの中で、意見のくい違いなどでトラブルも増える。相手の気持ちなどにも気づくような言葉かけをしていきたいと思う。</li> <li>・給食の配膳や会食などで調理員が身近になり、食事の場所以外でも会話をし、関わりを持つようになってきた。</li> </ul>

4歳児9月

目 標	<p>○一人ひとりを受けとめ、意欲や自信を持って活動に参加できるようにする</p> <p>○夏から秋への自然の変化に気づき、関わろうとする</p> <p>○土作りから関わり、野菜づくりに興味・関心を持つ</p>
子 ど も の 姿	<p>○活発に遊ぶ子どもが多くなり、空腹を感じて食事に向かうようになる</p> <p>○水やりなどの世話を積極的に行いながら、「もう食べられるよ」など収穫時期に気づく子どもが多くなる</p> <p>○正しく箸や皿が持てない、姿勢が悪い子どもがいる</p>
ね ら い 関 係	<p>食と 健康</p> <p>○正しい手洗いの仕方を知り、行う</p> <p>○栽培している野菜や旬の野菜に触れ、健康について興味を持つ</p> <p>○「モチモチしている」など食感を味わいながらおいしく食べる</p>
	<p>食と 人間 関係</p> <p>○年下の子どもに「こうやるんだよ」「やさしく土をかけてね」などほうれん草の種まきの仕方を教える</p> <p>○うどん作りに興味を持ち「次はどうするの？」など、地域ボランティア（わかな会）に作り方を聞き、親しみを感ずる</p>
と 内 容	<p>食と</p> <p>○うどんの作り方を知る</p> <p>○正しい箸、皿の持ち方、姿勢に気づき、身につける</p>
	<p>文化</p> <p>○旬の野菜に直接触れ、興味を深める</p>
命 育 ち と 食	<p>○水やり、草とりの世話を積極的に行い、発芽などの生長を楽しみにする</p> <p>○自分たちで育てた野菜を食べる喜びを味わう</p>
	<p>料理</p> <p>○うどん作りでは「やわらかい」「あたたかい」などの感触や色、匂いなどに興味を持ち、おいしく食べる</p> <p>○下ごしらえをする中で、食材が給食に入ることを想像し、食事を楽しみに待つ</p>
指 導 上 の 留 意 点	<p>保 育 者 の 援 助</p> <p>○げんきボードを活用し、食材の持つ力について理解できるようにする</p> <p>○正しい手洗いの仕方や大切さを知らせる</p> <p>○一緒に食事をする中で、正しい箸、皿の持ち方、姿勢が身につくようにしていく</p> <p>○水やり、草とりなどを通して、自然に収穫時期に気づくようにしていく</p> <p>○クッキングでは衛生、安全面に注意する</p> <p>○地域ボランティア（わかな会）とのかかわりが自然にもてるよう仲立ちをする</p>
	<p>環 境 構 成</p> <p>○正しい手洗いの仕方のポスターを見やすいところに掲示する</p> <p>○食器の片づけが積極的に行えるように、下膳かごに食器の写真を種類別に掲示する</p> <p>○種まきの場所を確保し、草取り、土作りを子どもと一緒にできるように準備しておく</p> <p>○衛生、安全面に配慮し、調理活動に必要な調理器具を用意しておく</p>
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けての練習が始まる。子どもたちの期待も徐々に高まり、はりきって行う姿が見られるようになってきた。</li> <li>・友だち同士の意見のくい違いなどは、まだ見られるが、保育士が仲介したり、自分たちで解決しようとする姿も見られるようになってきた。</li> <li>・食事ではおしゃべりに夢中になり、時間がかかるので見直しをしていきたい。</li> </ul>

4歳児10月

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を思いきり動かし、運動遊びを楽しみながら、友だちとのつながりを広げる</li> <li>○秋の自然にふれ、興味や関心を持つ</li> <li>○食事のマナーに気づき、身につけようとする</li> </ul>	
子 ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体をたくさん動かすようになり「お腹すいたね」「今日の給食なにかな？」などの会話が増え、よく食べるようになる</li> <li>○「わあ〜芽が出てきた！」と野菜の生長に気づき、水やりなど積極的に行う</li> <li>○保育士や友だちの様子を見て、マナーに気をつけようとする子どもが見られるようになる</li> </ul>	
ね ら い と 内 容	食と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事中の会話の中から、食べ物と体の関係に興味を持つ</li> <li>○収穫した野菜の素材のおいしさを味わう</li> </ul>
	健康	○「卵焼きおいしいよ！」など遠足のお弁当についての会話をしながら、おいしく食べる
	食と	○「一緒に食べよう」と異年齢の友だちに声をかけ、会話をしながら楽しく食べる
	人間	○5歳児の食事当番を積極的に手伝い、3歳児も誘う
	関係	○農家の人に掘り方などを教えてもらいながら、さつまいも掘りを楽しむ
	食と	○トレーの使い方、下膳の仕方を年下の子どもに教える
	文化	○マナーの大切さを知り、自分から身につけようとする
	命の	○自分たちで収穫した野菜に触れ、感触を楽しむ。また、収穫したものをおいしく食べる
	育ち	○野菜の水やり、草とりやさつまいも、かぶの収穫、観察画をする
	と食	料理
と食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボンボンとはじける音、できあがりの匂いからポップコーンを想像し、喜んで食べる</li> <li>○固い小さな粒が熱を通すことによりポップコーンに変化することを知り、興味を深める</li> </ul>	
指 導 上 者 の 留 意 点	保	○食べ物がどんな働きをするのか話し、興味を持てるようにする
	育	○収穫した野菜を通して、大きさ、形、数、感触などに気づけるようなやりとりをしていく
	の	○さつまいも掘りでは、農家の人に感謝できるよう、仲立ちとなる
	助	○ポップコーンの実演では、衛生、安全面に配慮しながら、匂いや音を近くで感じられるようにする
環 境 構 成	環	○観察画は、野菜に触れる時間を多くもてるような場を作り、じっくりと取り組めるようにする
	境	○収穫した野菜を給食に入れられるよう、調理員と一緒に計画を立てる
	構	○農家の人と連絡を取り、さつまいもの生育状況を聞き、旬の時期に収穫できるようにする
	成	○食に関する絵本、図鑑など、子どもたちの興味が深まるような教材を用意する
反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会では、当日まで楽しみながら取り組み、楽しく参加することができた。子ども自身のやる気も見られ、成長を感じた。</li> <li>・保育ウィークのむけての製作などもとり入れる。興味を示し、集中力もついてきたので、計画的に行っていききたいと思う。</li> <li>・遠足、いもほりなど、子どもたちにとって楽しみな行事が続くが、よい経験となった。</li> <li>・友だち同士楽しく食事をするが、マナーが身につけていない子どもがいるので、個別に対応していきたい。</li> </ul>	